



イレブンエグシード通信 8月号



経営理念

～一人でも多くの幸せのために～

幸福は自分一人では感じにくいです。また、自分のためだけの幸福は本当の幸福とはいにくい。誰かのために仕事をする事、誰かのために役に立つこと、誰かのためにやったことで感謝される、周りに感謝をする。それこそが幸福と実感する。充足感を感じることができる。そんな社会を目指してまいります。

私達の目的

仕事を通じて一人でも多くの人々に安全で安心した生活を提供し、喜びに満ち溢れた幸福な社会を目指してまいります。

ご存じですか

～改正住宅セーフティネット法～ 2025年10月施行

高齢者、障がい者も安心して
お部屋を借りられないかなー

高齢者や障がい者などに対し、安定した賃貸住宅の供給を促すことを目的とした「住宅セーフティネット法」が改正され2025年10月に施行されます。

「住宅セーフティネット法」とは

民間の賃貸住宅を高齢者や障がい者など、住宅の確保に配慮が必要な方（住宅確保要配慮者）の入居を拒まない住宅として登録し、供給する制度。

この制度の背景には高齢者、低額所得者、子育て世代、障がい者等と賃貸オーナーの「借りる側」「貸す側」の双方が抱える不安や課題を解消するために「福祉政策」と「住宅政策」を一体的に推進することを目指しています。



空き物件をどう
にかしたい

セーフティネット住宅に登録した賃貸オーナーは定められた基準を満たすと、改修や入居者の受け入れに対して国や市町村から経済的な支援やサポートを受けられます。

2025年10月の法改正では以下の仕組みや手続きが導入されます。

- 家賃債務保証と家賃確保の仕組み
- 入居後の見守りと福祉支援の仕組み
- 入居者死亡時の手続き簡素化と残置物処理の円滑化

入居者と賃貸オーナーが
抱える不安の軽減が
期待できる。



改正住宅セーフティネット法

検索



詳細はこちらで

「建物メンテナンス業」・「内装工事業」・「福祉事業」に携わる弊社は、このような法制度も活用して賃貸オーナー様、利用者様のお役に立てる取り組みをしております。



感染対策の基礎知識と吐物処理の研修を受けて

令和 7 年度中村区自立支援連絡協議会第 1 回合同部開催にて、感染症対策の基礎知識と吐物処理の研修を受けてきました。そのご報告です。

感染症とは

細菌・ウィルス・真菌・寄生虫などの微生物が体内に侵入して増えることで、病気を引き起こす状態のことです。風邪やインフルエンザも感染症の一種です。

感染経路としては、接触感染（ノロウィルスなど皮膚やモノを触ってうつる）、飛沫感染（風邪やインフルエンザなどのくしゃみや会話のときのしぶき）、空気感染（結核やはしかなど空気中を漂う）、蚊や動物など媒介物を通じて（例：デング熱、狂犬病）などが挙げられます。何より「感染経路の遮断」が重要な対策になります。



例として…ノロウィルス

人の小腸粘膜で増殖するウィルスで直径 35~40nm と非常に小さく、感染力が非常に強いのが特徴です。吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などが主症状になります。

感染経路として汚染された手指や食品による接触・経口感染、吐しゃ物が乾燥した飛沫を吸い込む飛沫感染、処理で残存した小粒子を吸い込む空気感染があります。



《感染を広げないために》

吐物はすぐにふき取る・乾燥させない

ノロウィルスは乾燥すると空気中に漂い、口に入り感染することがあります



きれいにふき取ってから消毒をする。

家庭用塩素系漂白剤を水で薄めた消毒液が有効（アルコールはきかない）



しっかり手洗いをする

手にノロウィルスが残っていると、手で触れるところにウィルスが付着し完全源になります。



ウィルスは身近にあるもので、早めの対応・正確な知識・徹底した予防がカギになります。相談支援事業所イレブンカラースはこれからも皆様と一緒に学んでいけるように様々な情報を発信できればと思っております。

まるはっちゅ〜び（名古屋市）名古屋市食品安全・安心センターによる参考動画も参考にしてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=ft7y8Qlz9qM>

<https://www.youtube.com/watch?v=Y7icOR8-YM8>



「イレブンエクシード通信」は、弊社とお取引させていただいた方に送付させていただいております。ご不要の場合は、恐れ入りますが、ご一報ください。

